

2011年5月17日

東北関東大震災における太陽光発電の被災状況調査と応急対応

支援への協力をお願い

NPO 法人太陽光発電所ネットワーク

未曾有の災害をもたらした東北関東大震災から20日が経ちました。多くの犠牲者の冥福をお祈りするとともに大きな痛手を被られた被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の災害に対して私たち NPO 法人太陽光発電所ネットワーク（以下 PV-Net）は物心両面の支援を行う所存ですが、私たちの最も得意とすることにより貢献することが最善と考えております。それは安心安全なエネルギーである太陽光発電（以下 PV）の利用と地域に密着した当会員による全国的なネットワークの活用による連携です。

太陽光発電は今我が国で最も広く普及している再生可能エネルギーであり、地産地消エネルギーとしての意義と価値は今回の福島原子力発電事故と合わせて、災害によるライフライン喪失でさらに大きく見直され期待されています。

被災地において既設の太陽光発電も大きな痛手を受けていることが予測されます。ユーザである私たちの役割として以下の内容の支援と将来のための活動をスタートさせる予定です。

1. 被災された現地における太陽光発電の実態調査
2. 震災でダメージを受けた PV 装置の応急復旧の相談対応と支援
3. 震災地における避難所等の電気エネルギー源確保の支援
3. 被災した PV 復興と実態調査を通して今後の地域社会での PV 普及の提言

緊急の災害時にこそ太陽エネルギーの活用が期待されますが、調査には貴会員の太陽光発電メーカーの方々の協力が不可欠であり、それにより充実した調査内容と支援が得られ、この大震災の教訓を復興後の次の活動や事業に生かします。

協力のほどお願いいたします。

以上

ソーラ助け合い復興プロジェクト

東北関東大震災における太陽光発電の被災実態調査

1. 外観
2. 不具合箇所
3. 不具合回路
4. 通電状況
5. 系統連系状況
6. 自立運転状況
7. 総合状況

応急対応

1. 不具合状況の把握
2. モジュール破損
3. パワーコンディショナー破損
4. 配線破損

協力パートナー

1. PV-Net 会員
2. PVメーカー
3. PV 設置販売施工業者
4. 自治体
5. 温暖化対策センター
6. NGO
7. 生協
- 8.